

愛知の軍事拠点化許さない、リニア、子どももの貧困などで政府交渉

党愛知県委

党愛知県委員会は16、17日の両日、来年度政府予算に関わる52項目の要望を持って政府交渉をしました。わしの恵子、しもおく奈保両県議や地方議員、すやま初美党県若者雇用対策部長、衆院小選挙区候補、リニア建設の地元住民団体など18人が参加。本村伸子、島津幸広両衆院議員、井上哲士、武田良介両参院議員が同席しました。

◆ 安保法＝戦争法では、「駆けつけ警護」などの閣議決定撤回や愛知の軍事拠点化と軍学共同の動きを中止するよう要請。これに対し、防衛省は「訓練や部隊間交流について地元への周知が不十分であった」と認め、「今後、周辺自治体や、町内会への連絡について検討し回答する」と答えました。リニア問題では、事業認可の取り消



し、残土運搬で住環境を悪化させないことなどを要求し、JR東海が名古屋駅や非常口の工事、用地交渉を強引に進めている実態を追及。国交省は「目に余るものについては、必要な対応をする」と述べ、認可した国の責任として、改善を促す行政指導を行うとしました。同じく国交省では、駅の転落防止対策について、下奥議員が「新幹線

ホームドア設置遅れ 「国は義務化に踏み出せ」 本村議員 衆院国交委

本村伸子衆院議員は16日の衆院国土交通委員会で、駅のホームドア設置について国の責任を追及しました。本村氏は、転落死亡事故が相次ぐなか視覚障害者団体からホームドア設置を求める要望が強いことを示し、石井啓一国土交通大臣の認識をただしました。石井大臣が「最大限の取り組みを進める」と述べたのに対し、本村氏は、「1日平均10万人利用の駅を優先し、2020年までの政府の目標は135カ所を上乗せするにすぎないと指摘。1日平均1万人利用の駅だけで2131駅もあると述べ、「目標の前倒し、引き上げをやるべきだ」と追及しました。



また、本村氏は、「JR東海の在来線のホームドア設置はゼロ」と述べ、1日



井上哲士参院議員は19日、党名古屋市北区後援会の憲法学習会で講演しました。井上氏は改憲をめぐる国会の

憲法学習会で講演 井上氏 名古屋市北区

平均10万人利用の名古屋、金山、静岡の3駅も「具体的な計画はない」（国交省）という問題を追及。「リニアは開発できるのになぜホームドアはできないのか」とただしました。石井大臣は「扉の位置が異なり、設置困難と聞いている」などとJR東海を擁護。本村氏は「線路保全と同様の安全対策と位置付けるべきだ」と強調、駅ホームの安全対策要員の配置も求めました。

◆愛知・稲沢市長選 曾我部氏◆

市長の死去にともなう愛知県稲沢市長選挙（27日告示、12月4日投票）で、日本共産党も参加する「憲法をくらしに生かす稲沢民主市政の会」が推す前党稲沢市議の曾我部博隆氏（62）＝無所属、日本共産党推薦＝が立候補します。市長選にはほかに、3人が立候補を表明しています。

◆名古屋市議補欠選挙（名東区）に竹田氏◆

民進党市議の死去にともなう名古屋市名東区の市議補欠選挙（定数1、12月9日告示、同18日投票）で、日本共産党は、党県委員会勤務員の竹田まな氏（26）＝新＝が立候補します。補選は死去した民進党議員の妻が民進党公認で立候補を予定しています。

動向や自民党改憲草案の危険な内容、党の対案―現行憲法の完全実施などについて詳しく説明しました。質疑では「改憲しようとする政治家は戦場に行く覚悟があるのか」などの質問が出され、井上氏は「稲田大臣に自衛隊員に戦場に行けと命令する覚悟があるのかと質問したが、明確な答弁はなかった」など丁寧な答えました。

の豊橋駅にホームドアの設置を」と要求。国交省は「JR東海は、のぞみ停車駅を最優先」と答弁。豊橋駅への設置のめどもないことが明らかになりました。また、参加者は視覚障害者団体が要求している危険な駅を最優先にするよう求めました。◇ほかの主な要望項目◇
▼文科省＝子どももの貧困対策、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの正規職員を増員、学校給食の無償化、子ども食堂などに公的支援、給付制奨学金の実現▼厚労省＝介護保険の「軽度者」の保険外しをやめること、最低賃金引き上げ、長時間労働の是正▼国交省＝賃貸補助の創設・拡充、公営住宅を充分供給すること。